

別紙1 ソフトウェア要件

ソフトウェア要件
・ データベース、CSV、XML、などのデータソースを連携し統合可能であること
・ スケジュール、ファイル更新、HTTPリクエストなど多様なトリガーで処理を自動実行できること
・ 処理フローはJavaに自動変換され、高速な実行性能を有すること
・ ソフトウェアの機能により、大容量データを自動で並列処理が可能であること
・ ソフトウェアの機能により、大容量データを自動で分割処理が可能であること
・ ノンプログラミングでアプリケーション間の連携処理を定義・実行できるGUI開発環境を有すること
・ Webブラウザから開発が可能であること（開発クライアントツールのインストール不要）
・ データ変換（フォーマット変換、文字列処理、条件分岐等）をGUIで定義できること
・ 処理結果のログを自動出力し、運用監視が可能であること
・ スクリプトの仕様書、差分比較を生成する機能を有すること
・ スクリプトのバージョン管理機能を有すること
・ スクリプトのインポート／エクスポート機能を有すること
・ 処理フローの条件分岐が可能であること
・ エラー発生時にリカバリ処理を定義・実行できること
・ 処理実行開始時間や終了時間等のログを記録し、業務プロセス改善や監査に活用可能であること
・ 処理フローの構成要素（接続、変換、条件分岐等）をテンプレート化して再利用できること
・ ユーザーごとに権限設定が可能で、複数開発者による並行開発に対応していること
・ 外部からのAPI実行やコマンド実行が可能であること
・ 処理フローの休日設定やカレンダー制御が可能であること
・ グローバルリソース設定により、接続情報を一元管理できること
・ 全角半角変換機能を有すること
・ 和暦変換に対応していること
・ リファレンス機能を有し、実装したい処理をサンプルから利用可能であること
・ 横断検索機能により、関連するキーワードが使われているプロジェクトを可視化できること
・ 特定のデータベースに対して、複数のJDBCドライバを格納・利用できること
・ 令和10年（2028年）3月末までのアプリケーション保守を提供すること